

	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 ● 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。 ● 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にしてい、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 書くことや話すことを見つめたり構成を考えたりするためのメモを活用し、経験したことを順序よく話したり書いたりするようにする。 ● 日記指導・感想文等の指導を通して、構成立てて、文章を書けるようにする。 ● 発問を工夫して、教材を読む視点を明らかにする。 ● 物語文では、場面や人物の交流によって生じる変化（登場人物の心情の変化など）を読み取る。 ● 説明文は、内容の読み取りに加え、本文の形式を基にした説明の文や各段落の要約を書けるようにする。授業では、実際の映像などを見せながら、確認をしたり、関心を高めたりする。 ● 毎日音読の宿題を出し、語句の量を増やし、話や文章の中で使えるようにする。 ● 昔話や神話に触れ、伝統的な言語文化に親しませる。 ● とめ・はね・はらい等を丁寧に指導する。文や文章の中で漢字を使うことができるようにする。 ● おすすめ図書などで読書を推進したり、本を読んで分かったこと、面白かったことなどを説明したりする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ● 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、それに係る技能を身に付ける。 ● 数の数え方や計算の仕方、形の構成、量の大きさの比べ方を考える力やデータの個数から特徴を捉える力を身に付ける。 ● 数量や図形に親しみ、算数で学んだことよきや楽しさを感じながら、学ぼうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 加法・減法の筆算及び乗法九九は、児童の学習実態に応じて、九九カードの活用や反復練習を行い、確実に知識・技能を身に付けられるようにする。 ● 半具体物や図を用いて教師が模範を見せたり、実際に操作させたりして、数や数の動きのイメージをもてるようにする。 ● 実際に長さやかさをはかる体験を増やし、量感を伴う理解を促す。 ● 日常生活で学習内容が生かされている場面を想起させ、社会で活かされている場面につなげていく。 ● 問題解決型の授業を展開し、自分の考えを式や図などで書き表しながら考える時間をしっかりととる。 ● 学習したことを振り返る時間を設け、児童自身の学びを深める場を設定する。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよき、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。 ● 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現する。 ● 身近な人々、社会及び自然に自ら働き掛け、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な人々や自然と直接関わり合い、直接体験する学習活動を充実させる。 ● 記録カードを授業以外でも書けるようにし、書いたカードを児童同士で見合ったり、交流したりする場を設定する。 ● 児童の思いや願いの実現に向けて、具体的に考えたり表現したりすることを繰り返し、試行錯誤させる。 ● 比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなどの学習活動を重視する。 ● 気付いたことや考えたことなどについて、言葉、絵、動作、劇化などの多様な方法によって、他者と伝え合ったり振り返ったりする場を多く設ける。 ● 自己決定する機会を多く設ける。 ● 生活科の学習を生活に広げていけるような学習計画を立てる。コロナ禍でも実践できる学習活動を工夫する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲想と音楽の構造などとの関わりに気付き、音楽表現をするために必要な技能を身に付け、演奏したり、音楽をつくったりする。 ● 音楽を形づくったり要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよきや面白さを感じ取りながら、自分の思いをもって表現したり、味わって聴いたりする。 ● 楽しく音楽に関わり、友達と協働しながら、学習に取り組もうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 鍵盤ハーモニカの運指を丁寧に指導したり、ミニ鍵盤ハーモニカを活用したりしながら、技能を身に付けさせるように指導を工夫する。また、音楽をつくる活動を設定し、児童が音楽の仕組みに気付きながら取り組むことができるようにする。 ● 児童が自分の思いや意図を表すことができるように、楽曲分析を行い、よきや面白さを感じ取ることができるように、ワークシート等を工夫し、表現したり、味わって聴いたりする活動を設定する。 ● 導入時にリズム打ちや身体を動かす活動を取り入れ、児童楽しく音楽の学習をすることができるように、工夫する。友達と音を合わせるよきや心地よきを味わわせる。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象や事象を捉える造形的な視点について気付き、手や身体全体の感覚などを働かせて材料や用具を使い、創造的につくったり表したりできるようにする。 ● 造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりできるようにする。 ● つくりだす喜びを味わい、表現したり鑑賞したりする学習活動に楽しく取り組もうとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的な用具の使い方や安全な扱い方の練習を重ねるとともに、イメージしたことを自由に表現できる素地をつくる。 ● 友達の作品を楽しく見たり、感じたことを考えさせ、発表したり話したりする時間をとり、色や形、表し方の面白さや材料の感じに気付かせる。 ● 自分で好きな形や色を選び、感覚や気持ちを生かしながら楽しく活動できるような教材を選択し、造形活動を工夫する。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ● 基本的な動き方や技能を身に付けるとともに、その特性に応じた各種の運動の行い方及び身近な生活における健康・安全について理解する。 ● 運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ● 運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。 ● 改築工事で校庭が使用不可の現状や、感染症による社会的距離を踏まえ、限られた場所で可能な運動の仕方を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子供たちのよきを引き出せる体育の授業実践の場の設定上で、児童自身が安全への意識をもって活動できるように指導する。 ● 学習カードを用いて、振り返りの時間を設け、自らの次の課題を見付けることができるようにする。 ● 友達が体育の学習に取り組む姿から、友達のよい動きを見付けたり、教え合ったりできるようにする。 ● 運動やゲームの仕方を考え、工夫することができるよう、自分たちでルールを工夫したり、考えて運動したりできる場を整える。 ● 校外体育においても、それぞれの場所の特性を生かした運動の仕方を考える。 ● 運動会に向けて、団体競技と短距離走の充実を図る。 ● 感染症予防対策を徹底し、児童の運動における学習を工夫する。